

令和2年度 福岡市高速鉄道事業会計予算の概要

1. 予算

収益的収支	金額
収入	41,645 百万円
支出	33,357 百万円
差引	8,288 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	7,722 百万円

令和元年度末累積損益 Δ 109,717 百万円
 令和2年度損益 7,722 百万円
 令和2年度末累積損益 Δ 101,995 百万円

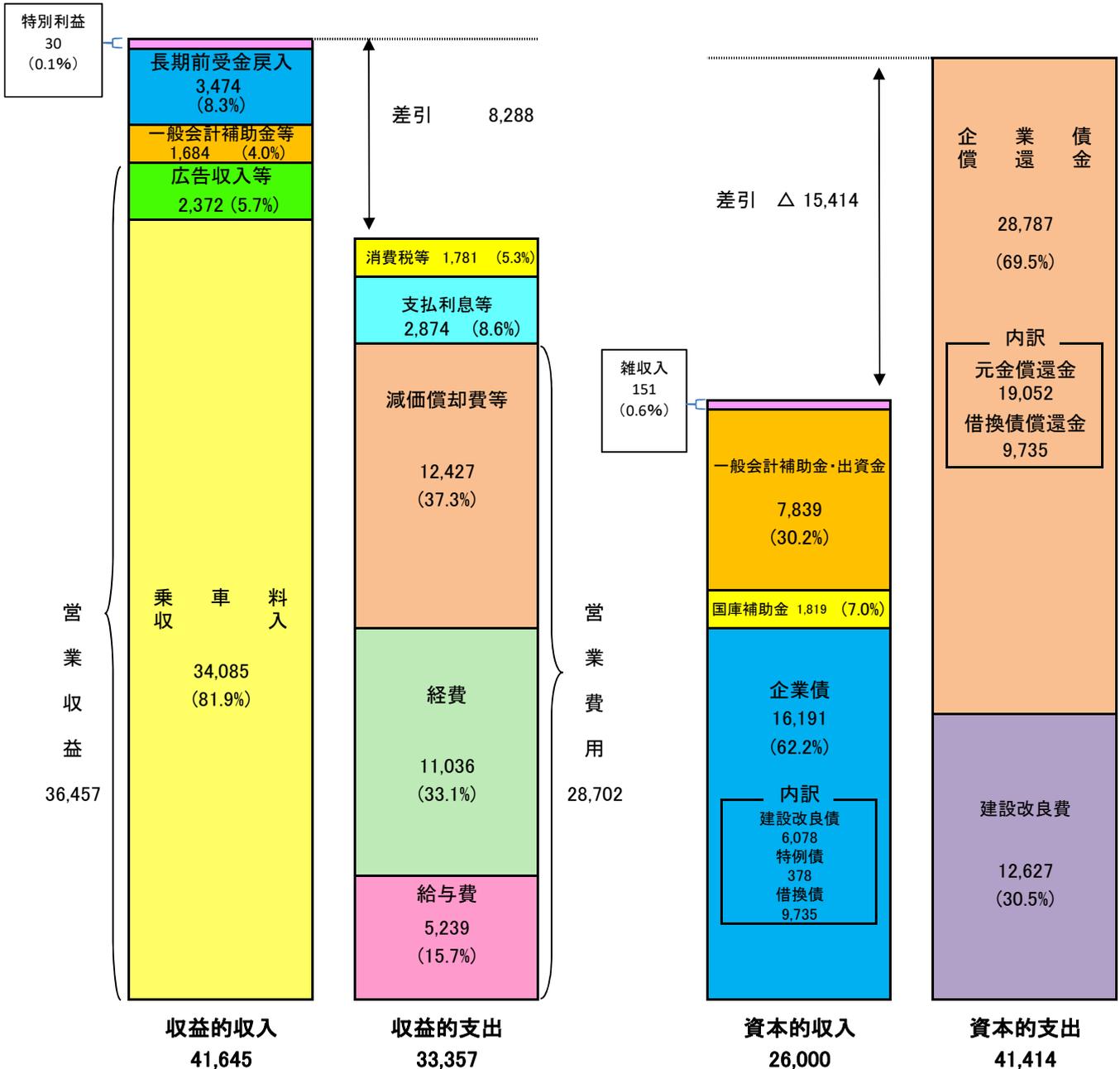
資本的収支	金額
収入	26,000 百万円
支出	41,414 百万円
差引(※)	Δ 15,414 百万円

※減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん

令和2年度末累積資金不足額 Δ 2,899 百万円

収益的収支 (単位:百万円)

資本的収支 (単位:百万円)



2. 業務の予定量

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線) 姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線) 中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線) 橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計	29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,743,568 キロメートル

(4) 年間輸送人員 183,047,500 人

(5) 一日平均輸送人員 501,500 人

○内訳	2年度	元年度	差引
空港・箱崎線(a)[乗継ぎ分含む]	427,000 人	411,500 人	15,500 人
七隈線(b)[乗継ぎ分含む]	98,500 人	95,800 人	2,700 人
乗継ぎ分(c)	24,000 人	24,300 人	△ 300 人
全線計(a)+(b)-(c)	501,500 人	483,000 人	18,500 人

3. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	7,619,000 千円
営業線改良事業	事業費	4,968,153 千円

4. 重要施策

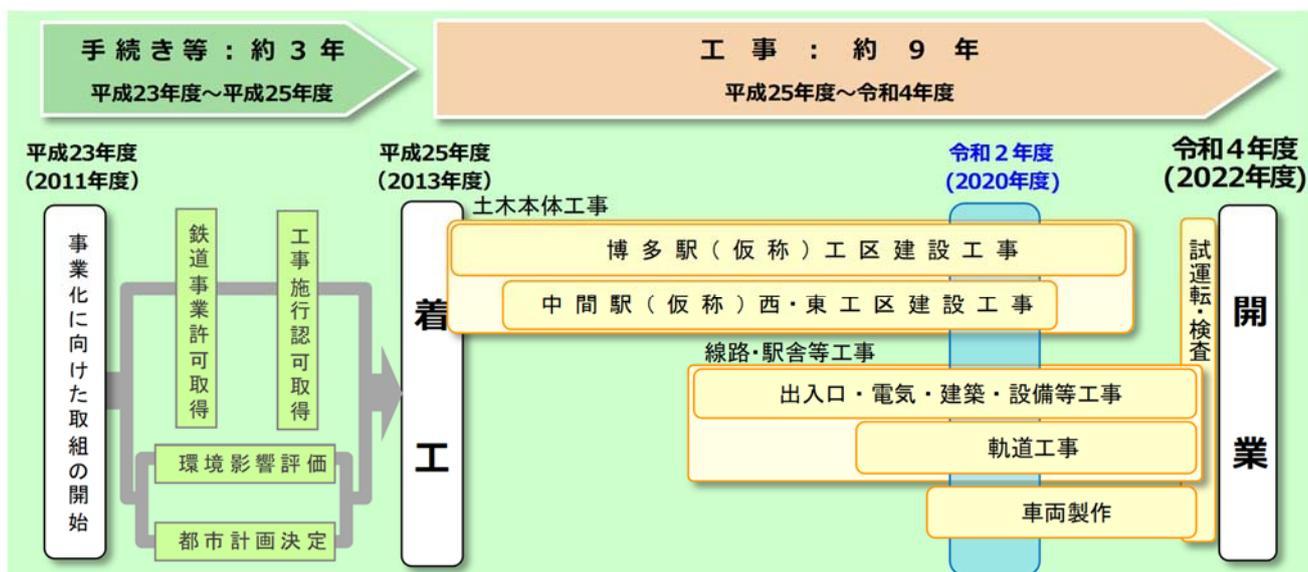
(1) 七隈線延伸事業の推進

7,619,000 千円

土木本体工事を引き続き着実に推進するとともに、車両の製作や線路および駅建築・設備等に関する工事に順次着手し、安全対策に万全を期しながら、令和4年度の開業を目指す。
あわせて、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かり易く発信する。

<事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇建設費 約587億円
- ◇開業予定 令和4年度
- ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日(需要定着後)うち新規利用者数…約2.3万人/日



(単位：千円)

区分	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
七隈線延伸事業	7,619,000	7,608,000	11,000	<ul style="list-style-type: none"> ・土木本体工事 ・中間駅(仮称)出入口工事 ・3000系車両製作 ・軌道工事 ・駅建築・設備工事 等
総事業費:約587億円(事業期間:平成24年度～令和4年度) 実績額:20,934,403千円 平成30年度繰越額:5,043,000千円				

(2) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保

1,629,662 千円

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づく改良工事を実施し、土木構造物の健全性を確保するとともに、経年劣化した自動列車制御装置（ATC）改良工事や姪浜駅ホーム上屋の改修工事を計画的に実施するなど、駅施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、2000系車両について、車体の補修や機器の更新など大規模な改修を行い、安全性や快適性を向上させる。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

イ 災害対策等の強化

20,120 千円

局地的な集中豪雨等の災害に備え、駅施設・設備等の浸水対策を検討する。

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
ア 施設、車両などの安全性の確保	1,629,662	640,490	989,172	
土木構造物改良工事	199,978	137,490	62,488	トンネル断面修復 等
総事業費：1,778 百万円（事業期間：平成 25 年度～令和 4 年度） 実績額：1,168,935 千円				
自動列車制御装置（ATC）改良工事	369,683	19,000	350,683	対象駅：博多駅 （7 駅中 6 駅完了）
総事業費：3,333 百万円（事業期間：平成 18 年度～令和 4 年度） 実績額：2,582,220 千円				
姪浜駅リニューアル（ホーム上屋改修）	101,470	65,000	36,470	ホーム上屋改修工事
総事業費：169 百万円（事業期間：平成 30 年度～令和 2 年度） 平成 30 年度繰越額：2,388 千円				
2000 系車両大規模改修	606,080	372,000	234,080	車体の補修、主要機器の更新 等
総事業費：2,720 百万円（事業期間：平成 30 年度～令和 4 年度）				
姪浜車両基地大規模改修	352,451	47,000	305,451	管理棟大規模改修工事 等
総事業費：1,469 百万円（事業期間：平成 30 年度～令和 6 年度）				
イ 災害対策等の強化	20,120	-	20,120	
浸水対策事業	20,120	-	20,120	駅施設・設備等の浸水対策を検討
合計	1,649,782	640,490	1,009,292	

(3) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、超高齢社会に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

ア みんなが使いやすい環境づくり

316,279 千円

駅バリアフリールートの充実及び観光客等の移動円滑化の推進を図るため、博多駅筑紫口において、エスカレーター設置工事を実施するとともに、ホーム階からコンコース階までのエレベーター設置工事に着手する。

また、天神駅においては、東口リニューアル事業に併せたエレベーター設置工事に着手する。

イ 快適・便利な環境づくり

311,294 千円

お客様に気持ち良くご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みを強化するとともに、東比恵駅の朝ラッシュ時の慢性的な混雑への対応として、新たに朝専用出口を整備する。

また、お客さまのより安全な乗降が確保できるよう、ホームモニターの改良等を行う。さらに、快適にご利用いただけるよう、空調・換気設備を改善する。

ウ 超高齢社会に対応したサービスの提供

51,918 千円

さらなる高齢化に対応するため、これまで進めてきた駅施設のバリアフリー化や優先席利用に関するマナー啓発などをより一層強化するとともに、駅構内のベンチの増設やトイレの洋式化等により、高齢者が使いやすいサービスの提供に取り組む。

また、高齢者の公共交通全体の利用拡大を図ることを目的として、西日本鉄道株式会社と連携し、ちかパス 65 等の利用者に対する、新ポイント制度を導入する。

エ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

82,296 千円

インバウンド対策として、外国人観光客が安心して利用できるよう、地下鉄駅コンシェルジュを配置するとともに、地下鉄車内や案内サインの外国語表記等を、より分かりやすい案内に改修する。

また、駅トイレの洋式化を推進する。

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
ア みんなが使いやすい 環境づくり	316,279	92,000	224,279	
駅バリアフリールート の充実(昇降機増設)	316,279	92,000	224,279	博多駅筑紫口エスカレーター 設置工事, 天神駅東口エレベーター 設置工事 等
イ 快適・便利な環境づくり	311,294	61,194	250,100	
乗車マナーの向上	62,075	18,321	43,754	乗車マナー向上キャンペーン, 整列乗車サイン設置, エスカレー ター音声案内装置設置 等
混雑の緩和	32,965	-	32,965	東比恵駅の新たな朝ラッシュ時 専用の出口ルート整備
より安全な乗降の確保	121,491	-	121,491	ホームモニターの改良 等
駅空調の改善	94,763	42,873	51,890	クールルームの改善(空港・箱崎 線), スポット空調の改善(七隈 線) 等
ウ 超高齢社会に対応した サービスの提供	51,918	16,200	35,718	
駅施設の改良	19,989	16,200	3,789	ベンチ増設(中洲川端駅, 福岡 空港駅), トイレの洋式化
高齢者対応サービスの充 実	31,929	-	31,929	高齢者パス利用者に対する新ポ イント制度の導入
エ 来街者にも使いやすい 環境整備とサービスの提供	82,296	112,936	△30,640	
インバウンド対策の拡充	82,296	35,936	46,360	駅案内サインの外国語表記, 地 下鉄駅コンシェルジュ, トイレ洋 式化 等 (再掲額を含む)
駅案内サイン等の改良	-	77,000	△77,000	令和元年度完了
合計	761,787	282,330	479,457	

(4) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、総合交通体系構築の観点から他の交通機関との連携強化に取り組むほか、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 508,210千円

天神駅において、天神ビッグバンによるビル建替えに合わせて、駅東側コンコースのレイアウトを変更し、駅の利便性・回遊性の向上やさらなるバリアフリー経路を充実するとともに、店舗区画を含む賑わいスペースを創出するなど、駅のリニューアルに取り組む。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 33,605千円

駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源などの特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組むことにより、各駅の個性化・活性化を図るとともに、各駅の魅力を効果的に発信する。また、世界水泳選手権大会の機運醸成に向けて、駅施設の装飾や記念乗車券販売などの検討を行うとともに、外国人観光客が快適に利用できるよう、駅案内サイン等を改修する。

ウ 環境対策に関する取組み 221,538千円

省エネの取組みとして、駅施設やトンネル内の照明のLED化を計画的に実施し、消費エネルギーの削減に取り組む。

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
ア 沿線まちづくりに対応した 駅施設の改良など	508,210	159,086	349,124	
天神駅東口リニューアル事業等	508,210	159,086	349,124	天神駅東口レイアウト変更工事、内装改良工事、エレベーター設置工事 等 (再掲額を含む)
総事業費：914百万円（事業期間：平成29年度～令和3年度） 実績額：48,144千円				
イ 沿線の地域、イベント、施設 などとの連携	33,605	7,239	26,366	
駅の魅力づくり	8,981	7,239	1,742	副駅名の設定、駅装飾 等
世界水泳選手権大会の機運醸成	24,624	-	24,624	駅装飾、記念乗車券販売、案内サインの改修 等 (再掲額を含む)
ウ 環境対策に関する取組み	221,538	107,000	114,538	
駅照明等のLED化改良工事	221,538	107,000	114,538	箱崎宮前駅、箱崎九大前駅 トンネル内照明(姪浜～西新聞)
総事業費：1,717百万円（事業期間：平成23年度～令和7年度） 実績額：763,962千円				
合計	763,353	273,325	490,028	

(5) 経営基盤の強化

経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・構内営業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組むとともに、安全性の確保を最優先に、施設・車両等のライフサイクルコストの最小化と投資の平準化を図るアセットマネジメントや経営の効率化を推進する。

また、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

ア 戦略的な営業施策の推進

4,367 千円

生産年齢人口の減少といった人口構成の変化や、国内外からの入込観光客の増加など、今後の地下鉄を取り巻く外部環境の変化に対応しながら、より効果的、効率的に増客増収を図るため、各種営業データの分析を通して、地下鉄利用者の現状把握に努めるとともに、延伸開業をにらんだ新たな施策の検討を行う。

イ 人材確保と育成

21,485 千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の改善に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進する。

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
ア 戦略的な営業施策の推進	4,367	23,210	△18,843	
営業データの分析・活用	4,367	23,210	△18,843	営業データの分析・活用
イ 人材確保と育成	21,485	32,020	△10,535	
安全・安心を支える人材の育成	21,485	32,020	△10,535	基本研修, 派遣研修, 資格取得支援 等
合計	25,852	55,230	△29,378	